

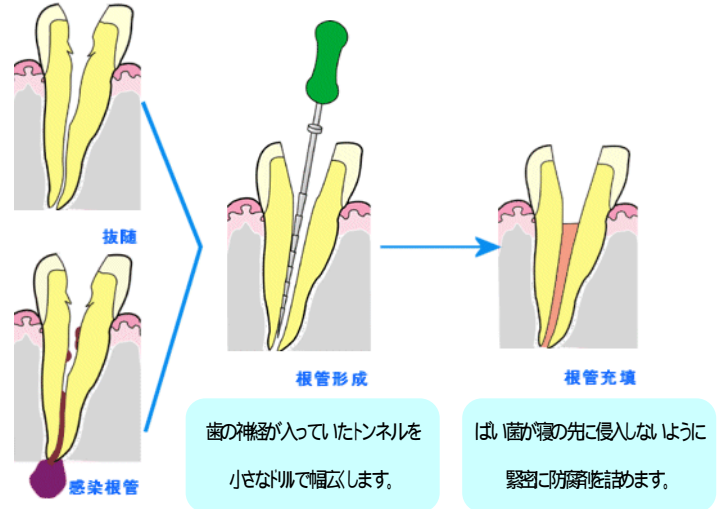
歯根の治療—根管治療—

虫歯が大きくなると歯の中にある神経にダメージを与え
場合により神経を取る必要があります

【神経を抜いた歯】

- * 枯れ木のように、折れたり割れたりし易くなる
- * 痛みを感じないので、虫歯になれば進行しやすい
- * 根管治療をした歯は強度が弱くなるため、かぶせを装着する

虫歯は神経を取ってしまえば一時痛みはなくなりますが、
神経の無くなったトンネルを通して細菌が侵入してきます。
細菌が根の先から骨に達するとそこに膿の袋ができます。



【適切な治療】



汚れた神経の孔を清掃器具で綺麗にして消毒します。
完全に神経の孔を消毒したら防腐剤で根の先まで密封します。

神経を取った歯の内部は複雑で立体的な空洞になっています。見えない空洞の悪くなった部分をきれいに取り除く事は容易ではありません。そのため、歯根の治療には歯科医師が高い技術をもち、かつ注意深く繊細な治療が必要となります。最終の防腐剤を歯に充填し終えたら必ずレントゲンで確認してもらいます。

【治療トラブルの報告事例】

- * 神経や血管を取り残してしまう
- * 管の数は人によって違うので管を見逃してしまう
- * 根の先を器具が突き抜けてしまう
- * 清掃器具の先が狭い管の中で折れてしまう

治療中のトラブルがあると、後々歯根の先に膿の袋が出来てしまうことがあります。根の先の部分に痛みや違和感を訴えて再治療となる可能性があります。